

平成30年度

関西国際空港の国際ハブ化の早期実現等を求める

要 望 書

泉州市・町関西国際空港推進協議会

平成31年1月28日

大阪府知事 松井 一郎 様

泉州市・町関西国際空港推進協議会
会 長 阪 口 伸 六

関西国際空港の国際ハブ化の早期実現等を求める要望書

平素は、当協議会の諸活動の推進に格段の御高配と御指導を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年の台風21号による関西国際空港の被害に対し、関係者のご尽力により、予測を上回るスピードで復旧が進み、観光立国をめざす我が国にとってインバウンド需要への影響を最小限にとどめ、また、日本経済への影響も最小限に抑えることができたことについて、心から敬意を表するものがあります。

関西国際空港は、2本の長距離滑走路を備え、かつ、完全24時間運用可能な国際ハブ空港としての機能を有しており、関西の国際物流拠点として、また主にアジア地域からの観光インバウンドの受入拠点としても、関西のみならず我が国の経済発展の面から重要な役割を担っております。

昨年度は、発着回数が約18.8万回、総旅客数が約2,880万人に達し、共に過去最高を更新しました。また、平成28年4月からは関西エアポート株式会社による運営が開始され、国際線の外国人旅客数も約1,501万人を記録するとともに、中国、韓国、台湾、香港からの出入国者数が国内最大シェアを誇るなど、民間のノウハウを活かした経営が実践されていると感じております。これから益々発展され、更なる航空ネットワークの拡充や集客力の強化が図られることを期待しております。

今後、「G20サミット首脳会議」、「ラグビーワールドカップ2019」、それに続く「東京2020オリンピック・パラリンピック」、「ワールドマスターズゲームズ2021関西」、「2025年国際博覧会」の開催に向け、訪日外国人の受入体制を万全にしていく必要があります。そのためには、関西国際空港の完全復興及び強靱化に向けた取組が重要であり、加えてCIQ体制の強化や空港へのアクセス利便性の向上など訪日外国人の受入環境を整備し、関西国際空港の国際ハブ空港としての機能を強化することが急務であります。

地元泉州9市4町におきましては、「地域と共存共栄する空港づくり」という関西国際空港建設の基本理念のもと、空港周辺の良い環境づくりに取り組んでまいりました。

貴府におかれましても、関西国際空港が国際ハブ空港として発展するよう、国際戦略的な視点に立ち、機能強化に向けた事業推進に取り組まれるとともに、臨空都市圏にふさわしい地域整備と一層の環境保全を進められることが肝要であると考えます。

つきましては、次の要望事項実現のため、格段の御配慮を賜りますようお願いいたします。

1. 国土交通省に対する要望事項について

本協議会は、先般、石井啓一国土交通大臣に対し、下記の8項目（詳細は巻末に添付）について要望活動を実施したところである。

貴府におかれても、これらの要望内容の実現に向けて、国に対し積極的に働きかけられたい。

1. 台風21号による被害からの完全復興について
2. インバウンド受入環境の整備について
3. 安全・安心の確保について
4. 航空ネットワークの充実について
5. 関西国際空港へのアクセス強化について
6. 関西国際空港全体構想の早期実現に向けての2期事業の完全供用について
7. 地元市町への必要な情報提供と国としての適切な関与
8. 関西3空港のあり方について

2. 昨年の台風21号による被害からの完全復興について

観光立国を目指す我が国が、2020年の訪日外国人旅行者数4,000万人の目標を実現するためには、関西国際空港の台風21号による被害からの完全復興及び機能強化は喫緊の課題である。

空港連絡橋の早期復旧はもとより、非常事態における空港へのアクセスの確保、電気・水道・通信といったライフラインの強化、護岸嵩上げの対策等、国土強靱化を踏まえ、早期に災害に強い空港となるよう、関係機関に働きかけられたい。

3. 関西国際空港へのアクセス強化について

関西国際空港と大阪都心部とのアクセスの利便性や速達性の向上に向けた、高速アクセス鉄道の整備の早期具体化、阪神高速道路信濃橋渡り線の早期竣工など、高速道路網の充実について、関係機関に働きかけられたい。

4. 関西国際空港関連地域整備の推進について

空港立地に伴う関連地域整備については、国の「関西国際空港関連施設整備大綱」及び大阪府の「関西国際空港関連地域整備計画」等に基づき、空港機能の十分な発揮と併せて地域の均衡ある発展を図る観点から、交通体系の整備をはじめ、南大阪湾岸整備事業、阪南丘陵開発事業等の諸施策が実施されてきたところである。

しかし、目標が十分に達成されていない事業もあり、今後においても、第二阪和国道及び泉州山手線をはじめとする道路・街路の整備、南海本線及びJR阪和線の立体交差化の推進など、より一層の事業推進に努められたい。

特に、事業推進にあたっては、国庫補助事業として採択されるよう、また、地元市町の行財政運営に影響が及ぶことのないように努められたい。

また、本協議会が取り組んでいる関西国際空港2期事業に対応した泉州地域振興支援策等について、円滑に運営できるよう、今後とも協力されたい。

5. 地域の活性化策について

昨年、泉州9市4町及び関西エアポート株式会社をはじめ地元民間企業等が協働して、一般社団法人KIX泉州ツーリズムビューローを設立し、関空イン・関空アウトのインバウンド拡大に向けて取り組んでいるところである。

貴府におかれても、地元市町の活性化に向け、次の事項について積極的な支援をされたい。

- (1) 国内外でのプロモーション活動をはじめ、災害時においても役立つ訪日外国人向けの情報についての更なる多言語化や伝達方法の多様化の推進、地元市町が取り組む国際交流事業や百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録に向けた取組の更なる推進、深日港洲本港間の航路復活をはじめとする関西国際空港を拠点とした南回りの大阪湾観光ルートの構築、堺泉北港・阪南港などへのクルーズ客船の誘致など、泉州地域の観光振興に資するよう積極的な支援策を講じるとともに、関係機関に働きかけられたい。

また、府域におけるエリア別の観光客数や観光消費額等は、地元の観光施策の推進にあたって重要な情報であるため、把握に努められたい。

- (2) 地元市町の活性化を図るため、空港建設工事及び関連公共工事の発注、関連資材等の調達並びに空港関連従業員の雇用について、地元企業、住民が優先的に採用されるよう関係機関に働きかけられたい。

6. 環境保全・環境監視の強化について

関西国際空港の運用及び関連事業の実施に伴う環境への影響に関し、次の事項について格段の措置を講じるなど、環境保全対策及び環境監視に万全を期されたい。

- (1) 環境監視及び苦情処理体制の強化に取り組むとともに、地元市町及び地域住民への迅速かつ正確な情報提供並びに飛行経路逸脱及び高度違反への迅速かつ厳正な対処など、引き続き新飛行経路導入に伴う「環境面の特別の配慮」の確実な履行が図られるよう関係機関に働きかけられたい。
- (2) 南海空港特急「ラピート」及びJR西日本関空特急「はるか」の騒音、振動等の対策について、引き続き関係機関に働きかけられたい。また、空港アクセス鉄道のダイヤ編成においては、各路線の分岐点である、南海本線「泉佐野駅」及びJR阪和線「日根野駅」以南の利便性を確保するとともに、日常生活に支障をきたさないよう働きかけられたい。

泉州市・町関西国際空港推進協議会

会 長	高石市長	阪 口	伸 六
副会長	堺市長	竹 山	修 身
副会長	熊取町長	藤 原	敏 司
監 査	泉南市長	竹 中	勇 人
委 員	和泉市長	辻	宏 康
委 員	泉大津市長	南 出	賢 一
委 員	岸和田市長	永 野	耕 平
委 員	貝塚市長	藤 原	龍 男
委 員	泉佐野市長	千代松	大 耕
委 員	阪南市長	水 野	謙 二
委 員	忠岡町長	和 田	吉 衛
委 員	田尻町長	栗 山	美 政
委 員	岬町長	田 代	堯